

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともに、より良い地域の実現にともに働きます！

民主党埼玉県
第1区総支部所属
埼玉県議会議員



あさのめ よしひで
浅野目 義英
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会
環境農林委員/地方分権・
行財政改革・新都心整備特
別委員



いのうえ まさかつ
井上 将勝
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会
文教委員/危機管理・大規
模災害対策特別委員

民主党埼玉県
第1区総支部所属
さいたま市議



かんざき いさお
神崎 功
昭和30年生まれ
さいたま市議会前副議長
民主党さいたま市議団顧問
文教委員



たかの ひでき
高野 秀樹
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団団長
地下鉄7号線延伸委員会副委
員長/総合政策委員



みかみ たかし
三神 尊志
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会委員長
地下7号延伸委員会



こやなぎ よしふみ
小柳 嘉文
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
大都市行財政制度委員
まちづくり委員



たけだ かずひろ
武田 和浩
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
総合政策委員
見沼田圃将来ビジョン委員

■ご案内■

党員・サポーター募集

党員 党費：6,000円
サポーター 会費：2,000円

詳細は下記、たけまさ事務所までお問い合わせ下さい。

■後援会総会・懇親会■

平成27年**6月16日**(火)
総会18:30~19:00 懇親会19:00~
場所：浦和コルソ7F(コルソホール)
会費：3,000円

【衆議院議員 たけまさ公一プロフィール】

- 昭和36年(1961年)生まれ
- さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶應義塾大学法学部政治学科卒業
平成元年松下政経塾卒業(第5期生)
- 平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選 ●平成26年12月14日、衆議院議員6期目当選
- 元財務副大臣、元外務副大臣
- 【衆議院】総務委員会委員、憲法審査会会長代理
- 【民主党】(本部)組織委員長 (埼玉県連)代表代行

■たけまさ公一事務所(所在地)



〒330-0074
浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F
電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

〒339-0057
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12
電話 048-749-6801 FAX 048-749-6802

〒100-8982
国会事務所 千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館312号室
電話 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715



号外 (No.177)

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)

埼玉県(第1区版)平成27年4月27日号
民主党埼玉県第1区総支部
さいたま市浦和区北浦和3-6-11-2F
電話：048-832-3810
FAX:048-832-3846
民主党埼玉県第1区総支部長 たけまさ公一

～たけまさ公一 第177号 衆議院議員国会レポート～

■2015年 統一地方選挙前半結果■

統一地方選挙の結果、埼玉県議会議員選挙では、民主党の公認・推薦候補者が14議席を得て、第二勢力を維持することができました。また、さいたま市議会議員選挙では、現職12名が全員当選し同じく第二勢力を維持しました。

埼玉県第1区総支部における得票結果は以下の通りです。

■埼玉県議会議員選挙

選挙区	当落	候補者名	得票数
見沼区(南6区)	当選	井上まさかつ	12,343
浦和区(南9区)	当選	あさのめ義英	18,202
緑区(南11区)		松岡こういち	14,679

■さいたま市議会議員選挙

選挙区	当落	候補者名	得票数
岩槻区	当選	高野ひでき	4,018
浦和区	当選	小柳よしふみ	9,331
緑区	当選	神崎いさお	6,073
見沼区	当選	三神たかし	5,179
見沼区	当選	武田かずひろ	4,476



■たけまさ公一オフィシャルブログ■
<http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>
ご意見・ご要望専用
メールアドレス voice@takemasa-k.jp



NHK予算審議(3月25日総務委員会にて)

公示日夜のNHKニュース

	アナウンサーの冒頭言葉
2014年衆院選	安倍政権の経済政策・アベノミクスの評価を最大の争点に
2005年衆院選 (郵政選挙)	小泉政権の継続か政権の交代かを最大の焦点に(中略)与党側は、郵政民営化はあらゆる改革に(中略)これに対して民主党は、年金問題などを(中略)。共産党と社民党は、二大政党制の中で(中略)。また国民新党や新党日本は(中略)。

3月25日の総務委員会にてNHKの予算案についての審議の中で、
 舛井NHK会長と質疑を行いました。先の衆議院選挙において、7時の
 ニュースで開口一番、「安倍政権の経済政策・アベノミクスの
 評価を最大の争点に」と放送したことが、いろいろな争点があっ
 た衆議院選挙において、「意見が対立している問題については、
 できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という放送
 法4条4項からズレてしまったのではないかと指摘をしました。
 また、NHK経営計画2015-2017年度から重視するポイントとして
 「貧困」という言葉が削除されたことについても質問をしました。

選挙権年齢に関するプロジェクトチームを開催(4月1,15日)

4月1日、9党会派にて、選挙権年齢に関するプロジェクトチー
 ム(武正公一座長代理)の第7回会合が行われました。特に高校
 における憲法・政治・歴史教育の充実と具体的な高校における選
 挙運動、政治運動について総務・文部科学省から報告を受け意見
 交換を行いました。また、民主党内にも主権者教育に関するWTを
 発足(4月15日)し、議論を始めました。

また4月28日には8回目の選挙権年齢に関するプロジェクトチー

ムの会合が行われます。

いずれも、2011年12月に民主党政権時代総務省がとりまとめた
 「常時啓発事業のあり方等研究会」の最終報告書にあるイギリス
 やドイツで政治教育の指針を設けたことを参考にしてはどうかと
 いうこと、また昭和44年の文部省による「高等学校における政治
 的教養と政治的活動について」という通知の見直しが議論のテー
 ブルに上がりました。衆議院倫理選挙に関する特別委員会で18歳
 選挙権法案の審議が5月中旬に始まります。

武正議員も法案提出者として答弁に立つため、細部の詰めを行
 って臨みます。

電気通信事業法改正案質疑(4月21日総務委員会にて)

電気通信事業者(ドコモ、KDDI、ソフトバンク)の寡占化防止と
 消費者保護の法目的には武正議員がこれまでずっと取り組んでき
 た「電波のオークション制度」の導入と各自治体の消費生活セン
 ターの整備充実が必要と指摘しました。

また、武正議員から①古賀茂明氏の「報道ステーション(3月28
 日)」の降板発言について官房長官による「テレビ局がどう対応す
 るか、しばらく見守りたい」という記者会見について、②自民党
 情報通信戦略調査会でのNHK、テレビ朝日の聴取について、③放送
 ・倫理向上機構(BPO)についての三点から、以下のような指摘をし
 ました。

テレビ局の五年ごとの免許更新権限を持つ総務大臣の政府と一
 体とされるが与党がテレビ局に圧力をかけたと思われ、報道への
 介入と受け止められるという点を指摘しました。
 高市大臣からは「両TV局は呼ばれても来なければ良い」、「放送
 事業者としての矜持」「正々堂々と述べればよい」との答弁には
 武正議員から「免許の許認可を握る」大臣がそう言っても「萎縮」
 せざるを得ないと指摘しました。